

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-14136

(P2012-14136A)

(43) 公開日 平成24年1月19日(2012.1.19)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
G09G 3/30 (2006.01)	G09G 3/30 J	3K107
G09G 3/20 (2006.01)	G09G 3/20 624B	5C080
H01L 51/50 (2006.01)	G09G 3/20 611D	5C380
	G09G 3/20 611J	
	G09G 3/20 621F	
審査請求 未請求 請求項の数 12 O L (全 14 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号	特願2010-219340 (P2010-219340)	(71) 出願人	308040351
(22) 出願日	平成22年9月29日 (2010. 9. 29)		三星モバイルディスプレイ株式会社
(31) 優先権主張番号	10-2010-0062763		Samsung Mobile Display Co., Ltd.
(32) 優先日	平成22年6月30日 (2010. 6. 30)		大韓民国京畿道龍仁市器興区農書洞山24
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)		San #24 Nongseo-Dong, Giheung-Gu, Yongin-City, Gyeonggi-Do 446-711 Republic of KOREA
		(74) 代理人	110000671
			八田国際特許業務法人
		(72) 発明者	鄭 鎮 泰
			大韓民国京畿道龍仁市器興区農書洞山24
		最終頁に続く	

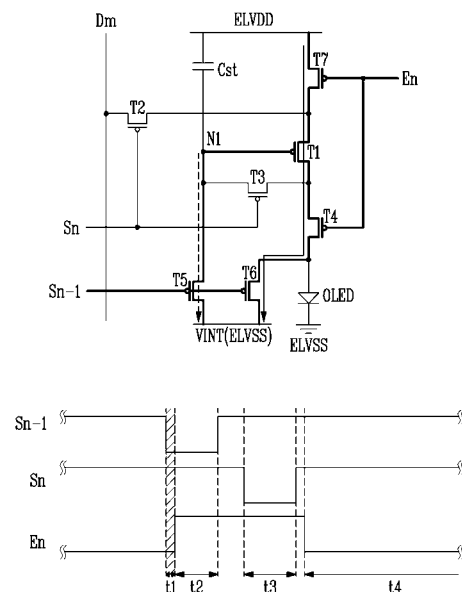
(54) 【発明の名称】 有機電界発光表示装置用画素及びこれを利用した有機電界発光表示装置

(57) 【要約】

【課題】 応答速度を改善した有機電界発光表示装置用画素

【解決手段】 第1電源ELVDDと第2電源ELVSS間に接続されたOLEDと、第1電源とOLED間に接続されゲート電極が第1ノードN1に接続された第1トランジスタT1と、第1電源に接続されたT1の第1電極とデータ線Dmとの間に接続されゲート電極が現在走査線Snに接続された第2トランジスタT2と、T1の第2電極とN1間に接続されゲート電極がSnに接続された第3トランジスタT3と、T1の第2電極とOLED間に接続されゲート電極が発光制御線Enに接続された第4トランジスタT4と、第2電源とN1間に接続されゲート電極がSn-1に接続された第5トランジスタT5と、第2電源とT4間に接続されゲート電極がSn-1に接続された第6トランジスタT6と、第1電源とN1の間に接続されたストレージキャパシタCstとを含む。

【選択図】 図4A



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

高電位画素電源である第 1 電源と低電位画素電源である第 2 電源との間に接続された有機発光ダイオードと、

前記第 1 電源と前記有機発光ダイオードとの間に接続され、ゲート電極が第 1 ノードに接続された第 1 トランジスタと、

前記第 1 電源に接続された前記第 1 トランジスタの第 1 電極とデータ線との間に接続され、ゲート電極が現在走査線に接続された第 2 トランジスタと、

前記第 1 トランジスタの第 2 電極と前記第 1 ノードとの間に接続され、ゲート電極が前記現在走査線に接続された第 3 トランジスタと、

前記第 1 トランジスタの第 2 電極と前記有機発光ダイオードとの間に接続され、ゲート電極が発光制御線に接続された第 4 トランジスタと、

前記第 2 電源または初期化電源である第 3 電源と前記第 1 ノードとの間に接続され、ゲート電極が以前走査線に接続された第 5 トランジスタと、

前記第 2 電源または前記第 3 電源と前記第 4 トランジスタとの間に接続され、ゲート電極が前記以前走査線に接続された第 6 トランジスタと、

前記第 1 電源と前記第 1 ノードとの間に接続されたストレージキャパシタと、

前記第 1 電源と前記第 1 トランジスタの第 1 電極との間に接続され、ゲート電極が前記発光制御線に接続された第 7 トランジスタと、

を含むことを特徴とする有機発光表示装置用画素。

【請求項 2】

前記第 4 トランジスタは、前記以前走査線に以前走査信号が供給される初期化期間中の第 1 期間の間、前記発光制御線に供給される発光制御信号によってターンオンされることを特徴とする請求項 1 に記載の有機発光表示装置用画素。

【請求項 3】

前記初期化期間中の第 1 期間の間、前記第 1 電源から前記第 1 トランジスタ、前記第 4 トランジスタ及び前記第 6 トランジスタを経由して前記第 2 電源または前記第 3 電源に電流パスが形成されることを特徴とする請求項 2 に記載の有機発光表示装置用画素。

【請求項 4】

前記第 4 トランジスタは、前記初期化期間中で前記第 1 期間に後続する第 2 期間の間前記発光制御信号によってターンオフされることを特徴とする請求項 2 に記載の有機発光表示装置用画素。

【請求項 5】

前記第 2 電源及び前記第 3 電源は、同一の電圧源であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の有機発光表示装置用画素。

【請求項 6】

前記第 6 トランジスタは、前記第 4 トランジスタと前記第 2 電源との間に、前記有機発光ダイオードと並列連結されるように接続されたことを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の有機発光表示装置用画素。

【請求項 7】

走査線に順次走査信号を供給し、発光制御線に発光制御信号を供給する走査駆動部と、データ線にデータを供給するデータ駆動部と、

前記走査線、前記発光制御線及び前記データ線の交差部に配置され、高電位画素電源である第 1 電源及び低電位画素電源である第 2 電源の供給を受ける複数の画素を備えた画素部と、を含み、

前記画素は、

前記第 1 電源と前記第 2 電源との間に接続された有機発光ダイオードと、

前記第 1 電源と前記有機発光ダイオードとの間に接続され、ゲート電極が第 1 ノードに接続された第 1 トランジスタと、

前記第 1 電源に接続される第 1 トランジスタの第 1 電極とデータ線との間に接続され、

10

20

30

40

50

ゲート電極が現在走査線に接続された第 2 トランジスタと、

前記第 1 トランジスタの第 2 電極と前記第 1 ノードとの間に接続され、ゲート電極が前記現在走査線に接続された第 3 トランジスタと、

前記第 1 トランジスタの第 2 電極と前記有機発光ダイオードとの間に接続され、ゲート電極が前記発光制御線に接続された第 4 トランジスタと、

前記第 2 電源または初期化電源である第 3 電源と前記第 1 ノードとの間に接続され、ゲート電極が以前走査線に接続された第 5 トランジスタと、

前記第 2 電源または前記第 3 電源と前記第 4 トランジスタとの間に接続され、ゲート電極が前記以前走査線に接続された第 6 トランジスタと、

前記第 1 電源と前記第 1 ノードとの間に接続されるストレージキャパシタと、

前記画素は、それぞれ、前記第 1 電源と前記第 1 トランジスタの第 1 電極との間に接続され、ゲート電極が前記発光制御線に接続される第 7 トランジスタと、

をそれぞれ含むことを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 8】

前記走査駆動部は、前記以前走査線に以前走査信号が供給される期間中の第 1 期間の間、前記発光制御線に前記第 4 トランジスタがターンオンされるようにする発光制御信号を供給することを特徴とする請求項 7 に記載の有機電界発光表示装置。

【請求項 9】

前記走査駆動部は、前記以前走査信号が供給される期間中で前記第 1 期間に後続する第 2 期間の間、前記発光制御線に前記第 4 トランジスタがターンオフされるようにする発光制御信号を供給することを特徴とする請求項 8 に記載の有機電界発光表示装置。

【請求項 10】

前記走査駆動部は、前記以前走査信号が供給される期間中、前記第 1 期間に後続する第 2 期間から前記現在走査線に現在走査信号が供給される第 3 期間の間、前記発光制御線に前記第 4 トランジスタがターンオフされるようにする発光制御信号を供給することを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の有機電界発光表示装置。

【請求項 11】

前記第 2 電源及び前記第 3 電源は、同一の電圧源であることを特徴とする請求項 7 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の有機電界発光表示装置。

【請求項 12】

前記第 6 トランジスタは、前記第 4 トランジスタと前記第 2 電源との間に、前記有機発光ダイオードと並列接続されるように接続されたことを特徴とする請求項 7 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の有機電界発光表示装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、画素及びこれを利用した有機電界発光表示装置に関する。

【背景技術】

【0002】

近年、陰極線管に比べて重さが軽くて嵩が小さい各種平板表示装置 (Flat Panel Device) 等が開発されている。平板表示装置の中で特に、有機電界発光表示装置 (Organic Light Emitting Display Device) は、自発光素子である有機発光ダイオードを利用して映像を表示するものであり、輝度及び色純度が優れており、次世代表示装置として注目されている。

【0003】

このような有機電界発光表示装置は、有機発光ダイオードを駆動する方式によって、パッシブマトリックス型有機電界発光表示装置 (PMOLED) と、アクティブマトリックス型有機電界発光表示装置 (AMOLED) に分けられる。

【0004】

このうち、アクティブマトリックス型有機電界発光表示装置は、走査線及びデータ線の

10

20

30

40

50

交差部に位置された複数の画素を含む。そして、各画素は有機発光ダイオードとこれを駆動するための画素回路を含む。このような画素回路は、通常、スイッチングトランジスタ、駆動トランジスタ及びストレージキャパシタを含んで構成される。このようなアクティブマトリックス型有機電界発光表示装置は、消費電力が小さいという長所をもっており、携帯用表示装置などに利用される。

【0005】

しかし、アクティブマトリックス型有機電界発光表示装置は、駆動トランジスタのヒステリシス(Hysteresis)に起因して応答速度が低下するおそれがある。例えば、画素が数フレームにかけてブラックを表示した後に、ホワイトを表示する場合、ブラック表示期間の間駆動トランジスタに持続的にオフ電圧が印加されつつトランジスタの特性曲線がシフトされ、その後、ホワイト表示期間の初期に目標とした輝度値を十分に表現することができずに、応答速度が低下される恐れがある。このように画素の応答速度が低下されれば画面が引きずられる(Image Sticking)現象が発生して画質が低下する問題がある。

10

【先行技術文献】

【特許文献】

【0006】

【特許文献1】特開2009-175716号公報

【特許文献2】韓国公開特許第2009-0106162号公報

【特許文献3】韓国公開特許第2009-0005588号公報

20

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

本発明は上記問題を鑑みてなされたものであって、応答速度が改善された有機電界発光表示装置用画素及びこれを利用した有機電界発光表示装置を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記目的を果たすために本発明に係る有機電界発光表示装置用画素は、高電位画素電源である第1電源と低電位画素電源である第2電源との間に接続された有機発光ダイオードと、前記第1電源と前記有機発光ダイオードとの間に接続され、ゲート電極が第1ノードに接続された第1トランジスタと、前記第1電源に接続された前記第1トランジスタの第1電極とデータ線との間に接続され、ゲート電極が現在走査線に接続された第2トランジスタと、前記第1トランジスタの第2電極と前記第1ノードとの間に接続され、ゲート電極が前記現在走査線に接続された第3トランジスタと、前記第1トランジスタの第2電極と前記有機発光ダイオードとの間に接続され、ゲート電極が発光制御線に接続された第4トランジスタと、前記第2電源または初期化電源である第3電源と前記第1ノードとの間に接続され、ゲート電極が以前走査線に接続された第5トランジスタと、前記第2電源または前記第3電源と前記第4トランジスタとの間に接続され、ゲート電極が前記以前走査線に接続された第6トランジスタと、前記第1電源と前記第1ノードとの間に接続されたストレージキャパシタと、を含む。

30

40

【0009】

前記第4トランジスタは、前記以前走査線に以前走査信号が供給される初期化期間中の第1期間の間、前記発光制御線に供給される発光制御信号によってターンオンされ得る。

【0010】

前記初期化期間中の第1期間の間、前記第1電源から前記第1トランジスタ、前記第4トランジスタ及び前記第6トランジスタを経由して前記第2電源または前記第3電源に電流パスが形成され得る。

【0011】

前記第4トランジスタは、前記初期化期間中で前記第1期間に後続する第2期間の間前記発光制御信号によってターンオフされ得る。

50

【 0 0 1 2 】

前記第 1 電源と前記第 1 トランジスタの第 1 電極との間に接続され、ゲート電極が前記発光制御線に接続された第 7 トランジスタをさらに含み得る。

【 0 0 1 3 】

前記第 2 電源及び前記第 3 電源は、同一の電圧源であり得る。

【 0 0 1 4 】

前記第 6 トランジスタは、前記第 4 トランジスタと前記第 2 電源との間に、前記有機発光ダイオードと並列連結されるように接続され得る。

【 0 0 1 5 】

また、本発明に係る有機電界発光表示装置は、走査線に順次走査信号を供給し、発光制御線に発光制御信号を供給する走査駆動部と、データ線にデータを供給するデータ駆動部と、前記走査線、前記発光制御線及び前記データ線の交差部に配置され、高電位画素電源である第 1 電源及び低電位画素電源である第 2 電源の供給を受ける複数の画素を備えた画素部と、を含み、前記画素は、前記第 1 電源と前記第 2 電源との間に接続された有機発光ダイオードと、前記第 1 電源と前記有機発光ダイオードとの間に接続され、ゲート電極が第 1 ノードに接続された第 1 トランジスタと、前記第 1 電源に接続される第 1 トランジスタの第 1 電極とデータ線との間に接続され、ゲート電極が現在走査線に接続された第 2 トランジスタと、前記第 1 トランジスタの第 2 電極と前記第 1 ノードとの間に接続され、ゲート電極が前記現在走査線に接続された第 3 トランジスタと、前記第 1 トランジスタの第 2 電極と前記有機発光ダイオードとの間に接続され、ゲート電極が前記発光制御線に接続された第 4 トランジスタと、前記第 2 電源または初期化電源である第 3 電源と前記第 1 ノードとの間に接続され、ゲート電極が以前走査線に接続された第 5 トランジスタと、前記第 2 電源または前記第 3 電源と前記第 4 トランジスタとの間に接続され、ゲート電極が前記以前走査線に接続された第 6 トランジスタと、前記第 1 電源と前記第 1 ノードとの間に接続されるストレージキャパシタと、をそれぞれ含む。

【 0 0 1 6 】

前記走査駆動部は、前記以前走査線に以前走査信号が供給される期間中の第 1 期間の間、前記発光制御線に前記第 4 トランジスタがターンオンされるようにする発光制御信号を供給し得る。

【 0 0 1 7 】

前記走査駆動部は、前記以前走査信号が供給される期間中で前記第 1 期間に後続する第 2 期間の間、前記発光制御線に前記第 4 トランジスタがターンオフされるようにする発光制御信号を供給し得る。

【 0 0 1 8 】

前記走査駆動部は、前記以前走査信号が供給される期間中、前記第 1 期間に後続する第 2 期間から前記現在走査線に現在走査信号が供給される第 3 期間の間、前記発光制御線に前記第 4 トランジスタがターンオフされるようにする発光制御信号を供給し得る。

【 0 0 1 9 】

前記画素は、それぞれ、前記第 1 電源と前記第 1 トランジスタの第 1 電極との間に接続され、ゲート電極が前記発光制御線に接続される第 7 トランジスタをさらに含み得る。

【 0 0 2 0 】

前記第 2 電源及び前記第 3 電源は、同一の電圧源であり得る。

【 0 0 2 1 】

前記第 6 トランジスタは、前記第 4 トランジスタと前記第 2 電源との間に、前記有機発光ダイオードと並列接続されるように接続され得る。

【 発明の効果 】

【 0 0 2 2 】

本発明によれば、各画素に有機発光ダイオードと並列連結される第 6 トランジスタを具備し、駆動トランジスタのゲート電極が接続される第 1 ノードに初期化電圧を伝達する初期化期間中、第 1 期間の間、高電位画素電源から駆動トランジスタ及び第 6 トランジスタ

10

20

30

40

50

を經由して低電位画素電源または初期化電源に迂回される電流パスを形成する。これにより、ブラック輝度の上昇を防止しながらも駆動トランジスタのヒステリシスに起因した画素の応答速度低下の問題を改善することができる。

【図面の簡単な説明】

【0023】

【図1】本発明の実施形態に係る有機電界発光表示装置の構造を概略的に示したブロック図である。

【図2】本発明の実施形態に係る有機電界発光表示装置の画素を示した回路図である。

【図3】図2に示された画素を駆動するための駆動信号を示した波形図である。

【図4A】図3の駆動信号によって駆動される図2の画素の駆動方法を順次に示した回路図及び波形図である。

10

【図4B】図3の駆動信号によって駆動される図2の画素の駆動方法を順次に示した回路図及び波形図である。

【図4C】図3の駆動信号によって駆動される図2の画素の駆動方法を順次に示した回路図及び波形図である。

【図4D】図3の駆動信号によって駆動される図2の画素の駆動方法を順次に示した回路図及び波形図である。

【発明を実施するための形態】

【0024】

以下、添付された図面を参照して本発明の実施形態についてより詳しく説明する。図1は、本発明の実施形態に係る有機電界発光表示装置の構造を概略的に示したブロック図である。

20

【0025】

図1を参照すれば、本発明の実施形態に係る有機電界発光表示装置は、走査線（S1ないしSn）、発光制御線（E1ないしEn）、及びデータ線（D1ないしDm）の交差部に位置される複数の画素140を備えた画素部130と、走査線（S1ないしSn）、及び発光制御線（E1ないしEn）を駆動するための走査駆動部110と、データ線（D1ないしDm）を駆動するためのデータ駆動部120と、走査駆動部110及びデータ駆動部120を制御するためのタイミング制御部150とを含む。

【0026】

30

走査駆動部110は、タイミング制御部150から走査駆動制御信号SCSの供給を受ける。走査駆動制御信号SCSの供給を受けた走査駆動部110は走査信号を生成し、生成された走査信号を走査線（S1ないしSn）に順次供給する。また、走査駆動部110は、走査駆動制御信号SCSに対応し、走査線（S1ないしSn）に並んで形成された発光制御線（E1ないしEn）に発光制御信号を供給する。

【0027】

ただし、本実施形態では、走査駆動部110は画素140に備えられる所定のトランジスタ（図示せず）がターンオンされるようにする走査信号を走査線（S1ないしSn）に順次供給するが、各画素140を基準として以前走査線に以前走査信号が供給される期間中の初期期間（第1期間）には、画素140に備えられる所定のトランジスタがターンオンされるようにする発光制御信号を発光制御線（E1ないしEn）に供給する。

40

【0028】

以後、走査駆動部110は、以前走査信号が供給される期間中であって第1期間に後続される第2期間から現在走査線に現在走査信号が供給される第3期間までは、画素内所定のトランジスタがターンオフされるようにする発光制御信号を持続的に供給し、現在走査信号の供給が完了したと同時にその後に前記所定のトランジスタがターンオンされるようにする発光制御信号を供給する。

【0029】

便宜上、図1では一つの走査駆動部110で走査信号及び発光制御信号をすべて生成して出力するものとして示したが、本発明はこれに限定されるものではない。すなわち、複

50

数の走査駆動部 110 が画素部 130 の両側から走査信号及び発光制御信号を供給してもよく、あるいは走査信号を生成して出力する駆動回路と発光制御信号を生成して出力する駆動回路とを別個の駆動回路に区分し、それぞれ走査駆動部及び発光制御駆動部とすることもできる。このとき、走査駆動部及び発光制御駆動部は、画素部 130 周辺の同一側に形成されることも可能であるが、互いに対向した異なる側面に形成されることも可能である。

【0030】

データ駆動部 120 は、タイミング制御部 150 からデータ駆動制御信号 DCS の供給を受ける。データ駆動制御信号 DCS の供給を受けたデータ駆動部 120 は、これに対応するデータ信号を生成し、生成されたデータ信号をデータ線 (D1 ないし Dm) に供給する。

10

【0031】

タイミング制御部 150 は、外部から供給される同期信号に対応してデータ駆動制御信号 DCS、及び走査駆動制御信号 SCS を生成する。タイミング制御部 150 で生成されたデータ駆動制御信号 DCS は、データ駆動部 120 に供給され、走査駆動制御信号 SCS は走査駆動部 110 に供給される。そして、タイミング制御部 150 は外部から供給されるデータをデータ駆動部 120 に供給する。

【0032】

画素部 130 は、外部から高電位画素電源である第 1 電源 ELVDD と、低電位画素電源である第 2 電源 ELVSS の供給を受けてそれぞれの画素 140 に供給する。第 1 電源 ELVDD 及び第 2 電源 ELVSS の供給を受けた画素 140 それぞれは、データ信号に対応する光を生成する。また、画素部 130 は画素 140 の構造によっては初期化電源のような第 3 電源の供給をさらに受け、これをそれぞれの画素 140 に供給することができる。

20

【0033】

図 1 では、画素 140 が一つの走査線、すなわち、現在走査線に接続されるものとして図示されているが、実際には、画素 140 は 2 本の走査線に接続される。例えば、 i (i は自然数) 番目水平ラインに位置される画素 140 は、現在走査線である第 i 走査線 S_i と以前走査線である第 $i-1$ 走査線 (S_{i-1}) に接続され得る。

【0034】

図 2 は、本発明の実施例による有機電界発光表示装置の画素を示した回路図である。便宜上、図 2 では n (n は自然数) 番目水平ラインに位置され、第 m データ線 D_m に接続される画素を図示する。

30

【0035】

図 2 を参照すれば、本発明の実施形態に係る有機電界発光表示装置の画素は、第 1 電源 ELVDD と第 2 電源 ELVSS との間に接続された有機発光ダイオード OLED と、第 1 電源 ELVDD と有機発光ダイオード OLED との間に接続された第 1 トランジスタ T1 と、第 1 トランジスタ T1 の第 1 電極とデータ線 D_m との間に接続された第 2 トランジスタ T2 と、第 1 トランジスタ T1 の第 2 電極とゲート電極との間に接続される第 3 トランジスタ T3 と、第 1 トランジスタ T1 の第 2 電極と有機発光ダイオード OLED との間に接続された第 4 トランジスタ T4 と、第 1 トランジスタ T1 のゲート電極が接続される第 1 ノード N1 と第 2 電源 ELVSS または初期化電源である第 3 電源 VINT との間に接続される第 5 トランジスタ T5 と、第 4 トランジスタ T4 と第 2 電源 ELVSS または第 3 電源 VINT との間に接続される第 6 トランジスタ T6 と、第 1 電源 ELVDD と第 1 トランジスタ T1 の第 1 電極との間に接続される第 7 トランジスタ T7 と、第 1 電源 ELVDD と第 1 ノード N1 との間に接続されるストレージキャパシタ CST と、を含む。

40

【0036】

より具体的には、第 1 トランジスタ T1 の第 1 電極は、第 7 トランジスタ T7 を経由して第 1 電源 ELVDD に接続され、第 2 電極は第 4 トランジスタ T4 を経由して有機発光ダイオード OLED に接続される。ここで、第 1 電極と第 2 電極は互いに異なる電極で、

50

例えば第 1 電極がソース電極であれば第 2 電極はドレイン電極である。第 1 トランジスタ T 1 のゲート電極は第 1 ノード N 1 に接続される。

【 0 0 3 7 】

このような第 1 トランジスタ T 1 は、第 1 ノード N 1 の電圧に対応して有機発光ダイオード O L E D に供給される駆動電流を制御することで、画素の駆動トランジスタとして機能する。

【 0 0 3 8 】

第 2 トランジスタ T 2 の第 1 電極は、データ線 D m に接続され、第 2 電極は第 1 トランジスタ T 1 の第 1 電極に接続される。特に、第 2 トランジスタ T 2 の第 2 電極は、第 1 トランジスタ T 1 及び第 3 トランジスタ T 3 がターンオンされる時、第 1 トランジスタ T 1 及び第 3 トランジスタ T 3 を経由して第 1 ノード N 1 に接続される。そして、第 2 トランジスタ T 2 のゲート電極は現在走査線 S n に接続される。第 2 トランジスタ T 2 は、現在走査線 S n から現在走査信号が供給される時ターンオンされてデータ線 D m から供給されるデータ信号を画素内部に伝達する。

10

【 0 0 3 9 】

第 3 トランジスタ T 3 の第 1 電極は、第 1 トランジスタ T 1 の第 2 電極に接続され、第 3 トランジスタ T 3 の第 2 電極は第 1 トランジスタ T 1 のゲート電極が接続される第 1 ノード N 1 に接続される。そして、第 3 トランジスタ T 3 のゲート電極は現在走査線 S n に接続される。このような第 3 トランジスタ T 3 は、現在走査線 S n から現在走査信号が供給される時ターンオンされて第 1 トランジスタ T 1 をダイオード形態に接続する。

20

【 0 0 4 0 】

第 4 トランジスタ T 4 の第 1 電極は、第 1 トランジスタ T 1 の第 2 電極に接続され、第 2 電極は有機発光ダイオード O L E D 、例えば、前記有機発光ダイオード O L E D のアノード電極に接続される。そして、第 4 トランジスタ T 4 のゲート電極は発光制御線 E n に接続される。このような第 4 トランジスタ T 4 は、発光制御線 E n から供給される発光制御信号に対応してターンオンまたはターンオフされつつ画素内に電流パスを形成するか、あるいは電流パスを遮断する。

【 0 0 4 1 】

第 5 トランジスタ T 5 の第 1 電極は、第 1 ノード N 1 に接続され、第 2 電極は第 2 電源 E L V S S または第 3 電源 V I N T に接続される。ここで、第 3 電源 V I N T は、画素の初期化電圧を供給するための初期化電源で、第 2 電源 E L V S S と異なる電位を持つ異なる電圧源に設定されて別に供給されるか、あるいは第 2 電源 E L V S S と同一の電圧源に設定され得る。すなわち、画素の設計構造によって別途の初期化電源 V I N T が供給されるか、あるいは第 2 電源 E L V S S が初期化電源として利用され得る。そして、第 5 トランジスタ T 5 のゲート電極は以前走査線 S n - 1 に接続される。このような第 5 トランジスタ T 5 は、以前走査線 S n - 1 から以前走査信号が供給された時ターンオンされて、第 2 電源 E L V S S または第 3 電源 V I N T の電圧を第 1 ノード N 1 に印加することによって第 1 ノード N 1 を初期化する。

30

【 0 0 4 2 】

第 6 トランジスタ T 6 の第 1 電極は、第 4 トランジスタ T 4 の第 2 電極に接続され、第 6 トランジスタ T 6 の第 2 電極は第 2 電源 E L V S S または第 3 電源 V I N T に接続される。第 6 トランジスタ T 6 の第 2 電極が第 2 電源 E L V S S に接続されれば、第 6 トランジスタ T 6 は第 4 トランジスタ T 4 と第 2 電源 E L V S S との間に、有機発光ダイオード O L E D と並列となるように接続される。第 6 トランジスタ T 6 のゲート電極は以前走査線 S n - 1 に接続される。このような第 6 トランジスタ T 6 は、以前走査線 S n - 1 から以前走査信号が供給された時ターンオンされ、第 4 トランジスタ T 4 を第 2 電源 E L V S S または第 3 電源 V I N T に接続する。

40

【 0 0 4 3 】

第 7 トランジスタ T 7 の第 1 電極は第 1 電源 E L V D D に接続されて、第 2 電極は第 1 トランジスタ T 1 の第 1 電極に接続される。第 7 トランジスタ T 7 のゲート電極は発光制

50

御線 E_n に接続される。このような第 7 トランジスタ T_7 は発光制御線 E_n から供給される発光制御信号に対応してターンオンまたはターンオフされ、画素内に電流パスを形成するか、あるいは電流パスを遮断する。

【0044】

ストレージキャパシタ CST は、第 1 電源 $ELVDD$ と第 1 ノード N_1 との間に接続されて、第 1 ノード N_1 に供給される電圧に対応する電圧を充電する。

【0045】

ただし、本実施形態において、以前走査線 S_{n-1} に以前走査信号が供給される初期化期間中第 1 期間の間、第 4 トランジスタ T_4 及び第 7 トランジスタ T_7 がターンオンされるようにする発光制御信号が発光制御線 E_n に供給される。これによって、前記初期化期間中第 1 期間の間、第 1 電源 $ELVDD$ から第 7 トランジスタ T_7 、第 1 トランジスタ T_1 、第 4 トランジスタ T_4 及び第 6 トランジスタ T_6 を経由して第 2 電源 $ELVSS$ または第 3 電源 $VINT$ に向かう電流パスが形成される。

10

【0046】

すなわち、本実施形態に係る有機電界発光表示装置の画素では、データプログラミング期間及び発光期間に先立って、第 1 トランジスタ T_1 に所定の電流を流して駆動トランジスタのヒステリシスに起因した画素の応答速度の低下を防止する。言い換えれば、画素が長期間にかけて低輝度（例えば、ブラック）を表示した以後に高輝度（例えば、ホワイト）を表示する場合にも、高輝度を表示するためのデータプログラミング期間及び発光期間に先立った初期化期間中に第 1 トランジスタ T_1 にヒステリシス補償のための所定の電流を流し、高輝度表示期間の初期にも目標の輝度値を表現することができることによって画素の応答速度を改善することができる。

20

【0047】

前述のように、本実施形態に係る有機電界発光表示装置の画素は、有機発光ダイオード $OLED$ と並列接続される形態で接続される第 6 トランジスタ T_6 を備える。そして、駆動トランジスタ（すなわち、第 1 トランジスタ T_1 ）のゲート電極が接続される第 1 ノード N_1 を初期化する初期化期間中第 1 期間の間、第 1 電源 $ELVDD$ から第 1 トランジスタ T_1 と、有機発光ダイオード $OLED$ に並列接続された第 6 トランジスタ T_6 を経由し、第 2 電源 $ELVSS$ または第 3 電源 $VINT$ に迂回される電流パスを形成する。これによって、初期化期間中有機発光ダイオード $OLED$ が発光することを防止してブラック輝度の上昇を防止しつつ第 1 トランジスタ T_1 のヒステリシスに起因した応答速度低下の問題を改善することができる。

30

【0048】

図 3 は、図 2 に示された画素を駆動するための駆動信号を示した波形図である。

【0049】

図 3 を参照すれば、以前走査線 S_{n-1} 及び現在走査線 S_n に順次に以前走査信号及び現在走査信号が供給される。ここで、以前走査信号及び現在走査信号は画素に含まれるトランジスタ、特に図 2 の第 2 トランジスタ T_2 及び第 3 トランジスタ T_3 と第 5 トランジスタ T_5 及び第 6 トランジスタ T_6 がターンオンされる電圧（例えば、ロー電圧）に設定される。

40

【0050】

そして、発光制御線 E_n に供給される発光制御信号は、以前走査信号が供給される初期化期間の第 1 期間 t_1 の間、画素に含まれるトランジスタ、特に図 2 の第 4 トランジスタ T_4 及び第 7 トランジスタ T_7 がターンオンされる電圧（例えば、ロー電圧）に設定され、初期化期間の残りの期間（すなわち、第 1 期間 t_1 に後続する第 2 期間 t_2 ）から現在走査信号が供給される第 3 期間 t_3 の間、前記第 4 トランジスタ T_4 及び第 7 トランジスタ T_7 がターンオフされる電圧（例えば、ハイ電圧）に設定された後、現在走査信号の供給が完了した後の発光期間、すなわち、第 4 期間 t_4 に前記第 4 トランジスタ T_4 及び第 7 トランジスタ T_7 がターンオンされる電圧に設定される。

【0051】

50

言い換えれば、第4トランジスタT4及び第7トランジスタT7がターンオフされるハイ電圧の発光制御信号は、以前走査信号が供給される期間中に供給が開始されて現在走査信号の供給の完了するまでに供給が維持される。このような図3の駆動信号によって駆動される画素の動作過程は、図4Aないし図4Dを参照して詳しく説明する。図4Aないし図4Dは、図3の駆動信号によって駆動される図2の画素の駆動方法を順次示した回路図及び波形図である。

【0052】

図4Aを参照すれば、以前走査線S_{n-1}に以前走査信号が供給される初期化期間(t₁、t₂)中、第1期間t₁の間、発光制御線E_nにはロー電圧の発光制御信号が供給される。以前走査線S_{n-1}にロー電圧の以前走査信号が供給されれば、第5トランジスタT5及び第6トランジスタT6がターンオンされる。

10

【0053】

第5トランジスタT5がターンオンされれば、第2電源ELVSSまたは第3電源VINTの電圧が第1ノードN1に伝達され、第6トランジスタT6がターンオンされれば、第4トランジスタT4が第2電源ELVSSまたは第3電源VINTに連結される(図4Aの矢印方向は、第1期間t₁以前に第1ノードN1の電圧が第2電源ELVSSまたは第3電源VINTの電圧以上の電圧に設定されたことを考慮して図示されている)。

【0054】

ここで、第2電源ELVSSまたは第3電源VINTの電圧は、第1ノードN1を初期化させられるほど十分に低い電圧、例えば、データ信号の階調電圧のうち最低電圧(駆動トランジスタがPMOSTランジスタの場合、最高階調電圧)より第1トランジスタT1のしきい値電圧以上低い電圧に設定され得る。したがって、以後のデータプログラミング期間t₃の間、第1トランジスタT1が順方向にダイオード連結されるようにしてデータ信号が第1トランジスタT1及び第3トランジスタT3を経由して安定的に第1ノードN1に伝達されるようになる。

20

【0055】

このように第2電源ELVSSまたは第3電源VINTの電圧は、低い電圧に設定されることで、以前走査線S_{n-1}に以前走査信号が供給される初期化期間(T₁ないしT₂)の間、第1トランジスタT1をもターンオンされる。一方、発光制御線E_nにロー電圧の発光制御信号が供給されれば、第4トランジスタT4及び第7トランジスタT7がターンオンされる。

30

【0056】

したがって、第1期間t₁の間、第1ノードN1に第2電源ELVSSまたは第3電源VINTの初期化電圧が印加されるとともに、第1電源ELVDDから、第7トランジスタT7、第1トランジスタT1、第4トランジスタT4及び第6トランジスタT6を経由して第2電源ELVSSまたは第3電源VINTへの電流パスが形成される。

【0057】

これによって、第1トランジスタT1の第1電極及び第2電極とゲート電極それぞれに所定のバイアス電圧が印加されながら第1トランジスタT1に電流が流れるようになる。これにより、第1トランジスタT1のヒステリシスが補償されるのは勿論、前記電流が第4トランジスタT4から第6トランジスタT6側に迂回されて流れるようにすることで、有機発光ダイオードOLEDが発光することを防止してブラック輝度の上昇を防止する。すなわち、第1期間t₁は、第1トランジスタT1にバイアス電圧を印加して所定の電流を流すことにより、第1トランジスタT1のヒステリシスに起因した応答速度の低下を防止して応答速度を改善するための応答速度改善区間で、特に本実施形態ではこの期間の間、さらに有機発光ダイオードOLEDが発光することを防止してブラックを鮮明に表示することができる。

40

【0058】

その後、図4Bに示されたように、初期化期間(t₁、t₂)のうち、第1期間t₁に後続する第2期間t₂の間、発光制御線E_nに供給される発光制御信号の電圧がハイ電圧

50

に変更される。すなわち、第 2 期間 t_2 の間、以前走査線 S_{n-1} にはロー電圧の以前走査信号の供給が維持されるとともに、発光制御線 E_n にはハイ電圧の発光制御信号が供給される。

【0059】

発光制御線 E_n にハイ電圧の発光制御信号が供給されれば、第 4 トランジスタ T_4 及び第 7 トランジスタ T_7 がターンオフされつつ第 1 期間 t_1 に第 1 トランジスタ T_1 を経由して流れていた電流が遮断される。そして、ロー電圧の以前走査信号は第 1 期間 t_1 においてと同様に第 2 期間 t_2 の間にも供給が維持されるので、第 5 トランジスタ T_5 はターンオン状態を維持し、したがって、第 1 ノード N_1 は第 2 電源 $ELVSS$ または第 3 電源 V_{INT} の電圧に安定的に初期化される。

10

【0060】

その後、図 4 C に示されたように、第 3 期間 t_3 の間、現在走査線 S_n にロー電圧の現在走査信号が供給される。これにより、第 2 トランジスタ T_2 及び第 3 トランジスタ T_3 がターンオンされ、第 1 トランジスタ T_1 は第 3 トランジスタ T_3 によってダイオード接続される。この第 3 期間 t_3 の間、データ線 D_m にはデータ信号が供給され、データ信号は第 2 トランジスタ T_2 、第 1 トランジスタ T_1 及び第 3 トランジスタ T_3 を経由して第 1 ノード N_1 に伝達される。この時、第 1 トランジスタ T_1 がダイオード連結された状態なので、第 1 ノード N_1 にはデータ信号と第 1 トランジスタ T_1 のしきい値電圧の差電圧が伝達される。

【0061】

20

すなわち、第 3 期間 T_3 は、第 1 ノード N_1 にデータ信号より第 1 トランジスタ T_1 のしきい値電圧分低い電圧に相応する電圧を印加する、データプログラミング及びしきい値電圧の補償期間であり、このような第 3 期間 t_3 に第 1 ノード N_1 に伝達された電圧はストレージキャパシタ CST に格納される。

【0062】

現在走査線 S_n への現在走査信号の供給が完了した後、図 4 D に図示されるように、第 4 期間 t_4 の間、発光制御線 E_n にロー電圧の発光制御信号が供給される。これによって、第 4 トランジスタ T_4 及び第 7 トランジスタ T_7 がターンオンされて、第 1 電源 $ELVDD$ から第 7 トランジスタ T_7 、第 1 トランジスタ T_1 、第 4 トランジスタ T_4 、及び有機発光ダイオード $OLED$ を経由して第 2 電源 $ELVSS$ に駆動電流が流れるようになる。

30

【0063】

この時、駆動電流は第 1 ノード N_1 の電圧に対応して第 1 トランジスタ T_1 によって制御されるもので、先立った第 3 期間 t_3 の間、第 1 ノード N_1 にはデータ信号の電圧とともに第 1 トランジスタ T_1 のしきい値電圧に相応する電圧が格納されたので、第 4 期間 t_4 の間には第 1 トランジスタ T_1 のしきい値電圧が相殺されて第 1 トランジスタ T_1 のしきい値電圧偏差に依存せず、データ信号に対応する駆動電流が流れるようになる。すなわち、第 4 期間 t_4 は画素の発光期間であり、第 4 期間 T_4 の間有機発光ダイオード $OLED$ はデータ信号に対応する輝度に発光する。

【0064】

40

以上のように、本発明の実施形態について説明したが、本願発明は、上記実施形態に限定されるものではなく、特許請求の範囲に記載され、又は明細書に開示された発明の要旨に基づき、当業者が様々な変形や変更が可能であることは勿論であり、かかる変形や変更が、本発明の範囲に包含されることは言うまでもない。

【符号の説明】

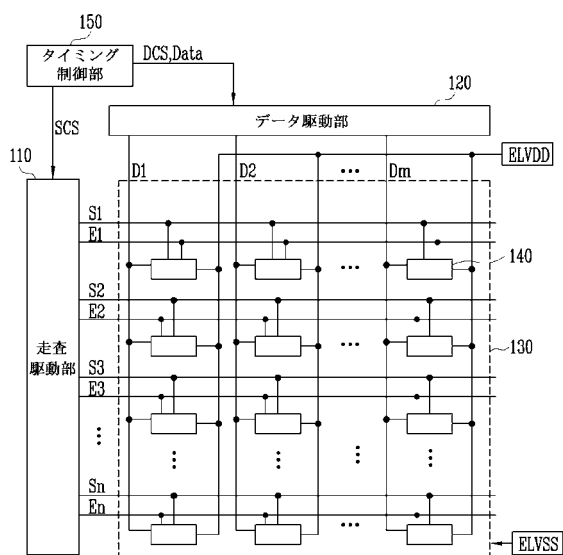
【0065】

- 140 画素、
- 130 画素部、
- 110 走査駆動部、
- 120 データ駆動部、

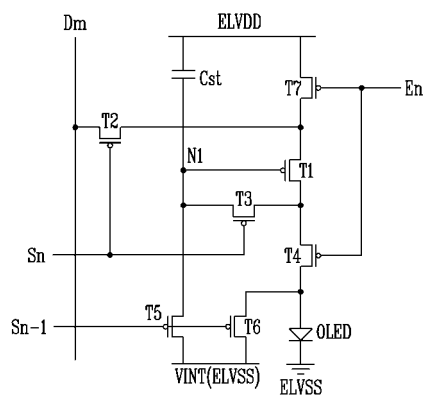
50

1 5 0

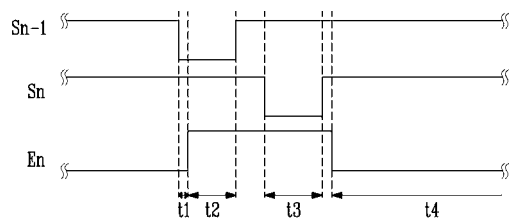
【 図 1 】



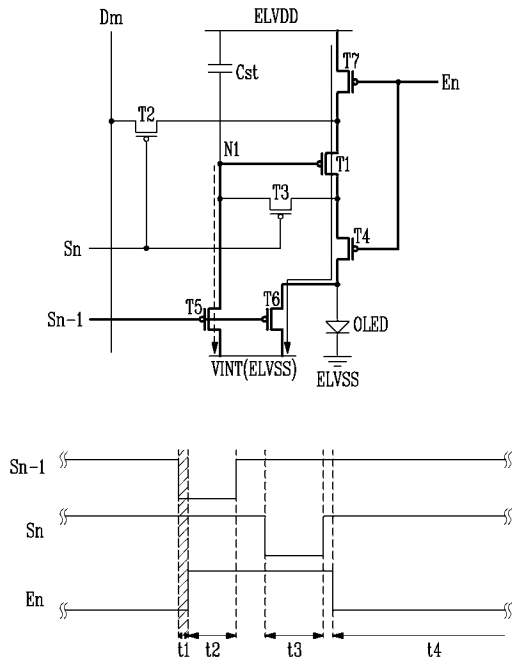
【圖 2】



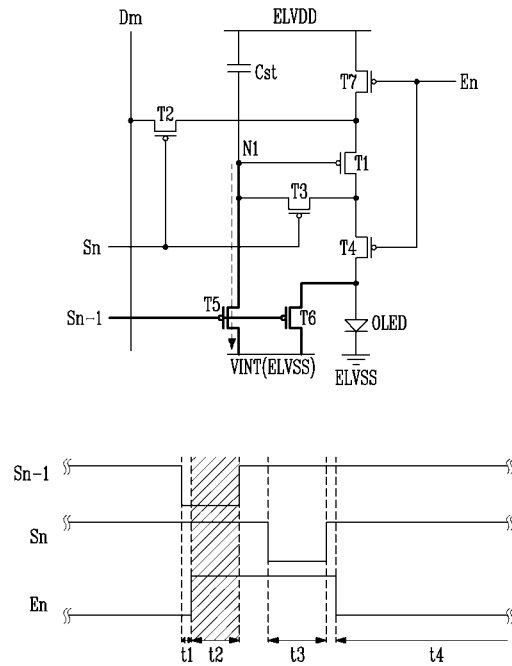
【 叉 3 】



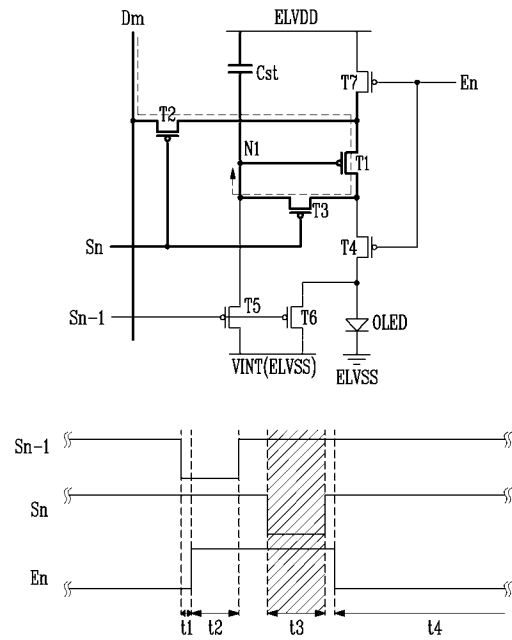
【図 4 A】



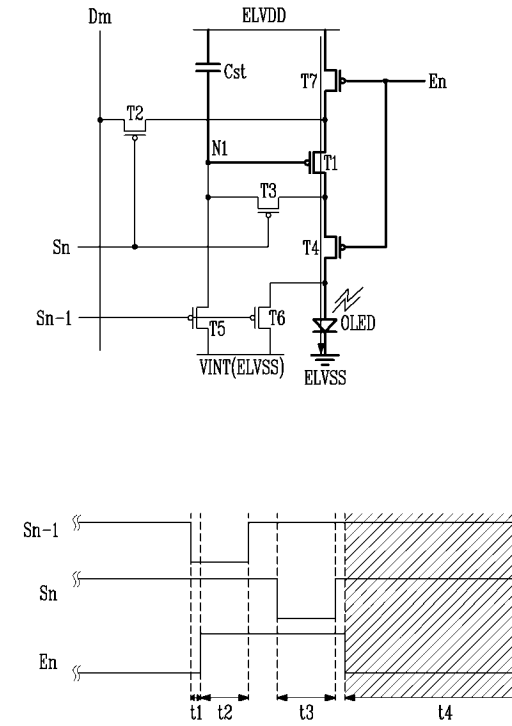
【図 4 B】



【図 4 C】



【図 4 D】



フロントページの続き

(51)Int.Cl. F I テーマコード(参考)
H 0 5 B 33/14 A

(72)発明者 川島 進吾

大韓民国京畿道龍仁市器興区農書洞山 2 4

F ターム(参考) 3K107 AA01 BB01 CC31 EE03 HH04 HH05
5C080 AA07 BB05 DD01 DD08 DD10 EE29 FF11 FF12 HH10 JJ02
JJ03 JJ04
5C380 AA01 AB06 BA20 BA38 BA39 BB08 BB23 BC18 BE01 CA12
CB01 CB17 CB33 CC06 CC07 CC26 CC33 CC39 CC52 CC55
CC64 CD017 CE17 CE19 CE21 DA02 DA06 DA47

专利名称(译)	用于有机电致发光显示装置的像素和使用该像素的有机电致发光显示装置		
公开(公告)号	JP2012014136A	公开(公告)日	2012-01-19
申请号	JP2010219340	申请日	2010-09-29
[标]申请(专利权)人(译)	三星显示有限公司		
申请(专利权)人(译)	三星移动显示的股票会社		
[标]发明人	鄭鎮泰 川島進吾		
发明人	鄭 鎮 泰 川 島 進 吾		
IPC分类号	G09G3/30 G09G3/20 H01L51/50		
CPC分类号	G09G3/3233 G09G2300/0819 G09G2300/0861 G09G2320/0238 G09G2320/0252 G09G2320/0261		
FI分类号	G09G3/30.J G09G3/20.624.B G09G3/20.611.D G09G3/20.611.J G09G3/20.621.F H05B33/14.A G09G3/3233 G09G3/3266 G09G3/3291		
F-TERM分类号	3K107/AA01 3K107/BB01 3K107/CC31 3K107/EE03 3K107/HH04 3K107/HH05 5C080/AA07 5C080/BB05 5C080/DD01 5C080/DD08 5C080/DD10 5C080/EE29 5C080/FF11 5C080/FF12 5C080/HH10 5C080/JJ02 5C080/JJ03 5C080/JJ04 5C380/AA01 5C380/AB06 5C380/BA20 5C380/BA38 5C380/BA39 5C380/BB08 5C380/BB23 5C380/BC18 5C380/BE01 5C380/CA12 5C380/CB01 5C380/CB17 5C380/CB33 5C380/CC06 5C380/CC07 5C380/CC26 5C380/CC33 5C380/CC39 5C380/CC52 5C380/CC55 5C380/CC64 5C380/CD017 5C380/CE17 5C380/CE19 5C380/CE21 5C380/DA02 5C380/DA06 5C380/DA47		
优先权	1020100062763 2010-06-30 KR		
其他公开文献	JP5612988B2		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

要解决的问题：为有机场发光显示装置提供像素，其响应速度得到改善。解决方案：一种有机场发光显示装置，包括：连接在第一电源ELVDD和第二电源ELVSS之间的OLED；第一晶体管T1，连接在第一电源和OLED之间，其栅电极连接到第一节点N1；第二晶体管T2，连接在连接到第一电源的T1的第一电极和数据线Dm之间，并且其栅电极连接到电流扫描线Sn；第三晶体管T3，连接在T1和N1的第二电极之间，其栅电极连接到Sn；第四晶体管T4，连接在T1的第二电极和OLED之间，其栅电极连接到发光控制线En；第五晶体管T5，连接在第二电源和N1之间，其栅电极连接到Sn-1；第六晶体管T6，连接在第二电源和T4之间，其栅电极连接到Sn-1；存储电容器Cst连接在第一电源和N1之间。

